

第 10 回旧 RD 最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日 時 平成 26 年 11 月 27 日 (木) 19:00～20:30

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

■質疑概要

1. 平成 26 年度第 2 回モニタリング結果について

◇経堂池の SS が上がったのは何故か？

→台風による大雨で池の底泥が巻き上げられたこと、および周辺の山等から濁水が流入したことによるものと思われますと、回答しました。

◇手を加えなくては昔のきれいな池に戻らないのではないか？

→今後も様子を見たいと、回答しました。

◇数字では基準を満たしているが、作った米の安全性について検査をしてももらえないか。また、県で買取り等してもらえないか？

→過去、市の調査で安全性が確認されており、今年 2 月に自治会の総会において説明させてもらった。希望があれば問題ないということを知りたいと、回答しました。

◇H24-S2 において 1,4 ジオキサンが検出されている。自然界にあってはならない物質であり、基準値を下回っているからと言ってよいものではない。

→今後もモニタリングで確認していきたい。

工事を進めていくなかで高くなっていくかもしれないので、できるだけ外部に出ていかないようにしたいと、回答しました。

◇モニタリング結果の一覧表が付いていない。

→今後は付けるようにしたい。今回は工事情報等と一緒に配布させてもらいますと、回答しました。

2. 有害物掘削における掘削量および搬出量について

◇ m^3 数は埋まっているときの容積か、掘削後の容積か？

→どういった意味があるのか？

→推定値以外は全て地山土量(埋まっているときの容積)です。また、斜字体は推定値ですが、このうち産業廃棄物(ドラム缶およびその内容物が浸潤した廃棄物土)は、地山の土の比重 1.8 で重量を割って算出したものですと、回答しました。

◇資料 2 で明らかになったように、掘ってみないとわからない。どこに、どういったものが、どれだけ埋められていたのかという実態解明を二次対策工事の中で進めて欲しい。

→了解しましたと、回答しました。

3. 底面遮水工における事前調査ボーリングの結果（中間報告）について

◇No.10-4 とNo.11 を結んだ直線上に粘土層確認のためのボーリングが必要ではないか？

→ご指摘の箇所は必要と考えており、今後調査を進めたい。今日は中間報告ということで、ご理解いただきたいと、回答しました

◇過去に市の調査委員会において、横山先生からガス化溶解炉の下にも粘土層の破損箇所があるのではないかと指摘があった。見直しをしなくてもよいのか？

→過去のデータをもう一度洗い直してみたいと、回答しました

◇粘土層破損の範囲が予想と違ったのは何故か？

→30mメッシュでボーリング調査を行い、有害物が見つければ更に10mメッシュで調査を行った。今回の追加調査では20m奥まで広がったが、30mメッシュのなかで広がったものであり、調査の限界があったためですと、回答しました。

4. その他

- ・手違いによりスクリーンで進捗状況の写真をお見せできなかったのを、印刷したものを工事情報と一緒に配布させていただくか、ホームページにアップさせていただきますと、お伝えしました。